

生ごみ堆肥化セミナー及び生ごみ堆肥化相談窓口運営管理等業務仕様書

1 目的

この仕様書は、委託者札幌市が受託者に委託する「生ごみ堆肥化セミナー及び生ごみ堆肥化相談窓口運営管理等業務」を円滑かつ効果的に運営するために必要な事項を定めることを目的とする。

2 業務内容及び実施方法

(1) 業務の目的

市民による各家庭での生ごみの堆肥化を積極的に推進するための支援を行う。

(2) 業務履行期間

令和5年4月1日（土）から令和6年3月31日（日）まで

(3) 業務内容

ア 生ごみ堆肥化セミナーの開催

受託者は、市民に対して家庭における生ごみ堆肥化方法及び使用方法を周知することを目的としたセミナーを開催する。

セミナーは対面形式30回、オンライン形式3回（詳細は後述）の全33回とする。なお、委託者と受託者との協議の上、対面形式の講座をオンライン形式の講座に振り替えることを妨げない。

【生ごみ堆肥化セミナー共通事項】

- (ア) セミナーは、ダンボール箱を使った生ごみ堆肥化方法と堆肥を使った野菜の育て方の説明を主な内容とする。野菜の種類については、セミナー開催時期に合わせたものとする。また、開催時期によって、土づくりや野菜の苗づくり、植え方を説明する等、委託者と協議の上、講座内容を決定する。
- (イ) セミナーの参加申込受付は札幌市コールセンターで行うこととし、セミナー開催前々日までに委託者から受託者に参加者名簿を提供する。
- (ウ) セミナーは1回あたり2時間程度とし、生ごみの堆肥化及び堆肥の使用方法に広く精通し、かつ一般的な生ごみ減量に関する質疑に対し適切な対応ができる者、野菜の育て方に精通した者を講師とする。
- (エ) セミナーでは、パワーポイント等を用いて説明を行い、他の資料を用いる場合は、事前に委託者に協議する。なお、パワーポイントのスライド資料は受託者が制作し、事前に委託者の承認を得ること。
- (オ) 受託者は、セミナー参加者から、参加料金、セミナーで使用する資料

代金及び生ごみ堆肥化基材等の代金を徴収してはならない。

- (カ) 会場等借上費、資料作成費、講師謝礼費、会場までの交通費及び生ごみ堆肥化基材運搬経費など、生ごみ堆肥化セミナーの運営に係る経費は受託者の負担とする。ただし、下記【対面セミナーに関すること】(イ)のセミナーの会場借上費は委託者が支払う。
- (キ) セミナー告知のため、案内チラシを作成し、配布すること。なお、公共施設には委託者から送付するので、2,000部を委託者に送付すること。

【対面セミナーに関すること】

- (ア) 定員は20～50名程度とし、参加者を集め、対面形式で実施する。
- (イ) 対面セミナーのうち、2回の開催日及び会場は、以下のとおりとする。

開催日時	会場
4月28日(金)午前	ちえりあ 中研修室2
4月29日(土)午前	厚別区民センター 区民ホール

- (ウ) 上記(イ)以外のセミナー開催日時は時期の偏りを生じさせないように配慮し、委託者と受託者の協議により定め、受託者が予約を行う。
- (エ) セミナー会場において、セミナー参加者に対し配布する「生ごみ堆肥化基材等」(詳細は後述エ(ア)のとおり)は、後日でも受け取ることができる体制(セミナー時に引換券を配布する等)を整えること。
- (オ) 受託者は、セミナーの開催毎に講師氏名、参加人数、質疑内容及び会場写真を記録し、月毎にまとめて委託者に報告すること。また、セミナー参加者へのアンケートを実施し、集計結果を実績報告とともに提出すること。

【オンラインセミナーに関すること】

- (ア) 定員は20～30名程度とし、オンラインでライブ配信する。
- (イ) 札幌市コールセンターによって申込を行った参加者のうち、希望する参加者については、後日「生ごみ堆肥化器材等」(詳細は後述エ(ア)のとおり)を受け取ることができる体制を整えること。
- (ウ) 受託者は開催毎に参加人数が分かる講座画面の画像と講師氏名、参加人数、質疑内容を記録し、月毎にまとめて委託者に報告すること。また、参加者から講座について寄せられた意見やニーズをとりまとめたものも、あわせて提出すること。

イ 生ごみ堆肥化講師派遣の実施

- (ア) 市内で実施される生ごみ堆肥化に関する学校の授業、町内会等の学習会等において講座を行う講師を派遣する。
- (イ) 講師の派遣は、市内で実施される学校の授業、PTAのレクリエーション、町内会や地域グループ等の市民向け学習会等を対象とする。

- (ウ) 原則として、参加者 10 名以上の場合に講師 1 名を派遣し、必要に応じて、講座運営支援者を派遣する。ただし、営利、特定の宗教や政治活動を主たる目的とするものには、派遣を行わないことができる。
- (エ) 講座内容は、コンポスター、密閉式容器、ダンボール箱による堆肥化のうち派遣を希望する学習会の主催者（以下「主催者」という。）の希望するものとする。また、主催者の希望に応じて、生ごみ堆肥の使用方法を併せて説明する。
- (オ) 講座実施場所は主催者の希望する場所とするが、原則札幌市内とする。
- (カ) 講座の実施は年間 12 回程度とし、原則として市民 1 グループあたり年 1 回、各学校 1 学級あたり年 1 回とする。ただし、講師派遣回数は申込状況によるものであり、年間 12 回の派遣を確約するものではない。なお、委託者と受託者との協議の上、12 回を超えて実施する場合がある。
- (キ) 講師の派遣申込受付は受託者が行い、主催者から、様式 1 「生ごみ堆肥化講師派遣申込書」により申込を受ける。
- (ク) 前項の申込書を審査しその適否を判断し、主催者に通知する。
- (ケ) 主催者の希望する堆肥化方法により講師を選定し、講座の開催方法や場所などの連絡・調整を行う。
- (コ) 講座では、委託者が用意する「生ごみ堆肥化基材等」を参加者に無料配布し、受託者は適宜配送等の手配を行う。なお、配送にかかる費用は受託者の負担とする。
- (サ) 学習会などの終了後、主催者より速やかに様式 2 「生ごみ堆肥化講師派遣実施報告書」及びアンケートを回収し、毎月の実績報告（詳細は後述 3 のとおり。）に添付すること。
- (シ) 講師派遣案内チラシを 3,000 部作成し、委託者に送付すること。
- (ス) 予算措置等やむを得ない都合により、講座の実施等中止することができる。

ウ 生ごみ堆肥化相談窓口の設置

- (ア) 受託者は、生ごみの堆肥化に関する市民からの相談に対応できるよう、相談窓口を設置する。
- (イ) 相談の受付は、電話、FAX 及び電子メールで対応することとし、問い合わせを受けてから 5 日以内に回答するよう努めること。
- (ウ) 電話による相談は、祝日、振替休日及び年末年始を除く月曜日から土曜日までの午前 10 時から午後 4 時まで受け付ける。ただし、委託者と受託者との協議の上、委託者が認めた場合にはこの限りではない。
- (エ) 受託者はコンポスター、密閉式容器、ダンボール箱による生ごみ堆肥

化の方法及び生ごみ堆肥の使用法のほか、生ごみ減量に関する一般的な相談も回答するよう努めること。

- (オ) 受託者は、相談内容及び回答内容について記録し、月毎にまとめて委託者に報告すること。

エ 生ごみ堆肥化基材等の保管、管理及び運搬

- (ア) 受託者は、委託者が所有する「生ごみ堆肥化基材等」を委託者の指示により倉庫などへ運搬し、適切に保管管理する。なお、「生ごみ堆肥化基材等」とは、「ダンボール箱」、「ピートモスともみ殻くん炭の混合物」、「EMぼかし」のことを指す。なお、生ごみ堆肥化セミナー及び生ごみ堆肥化講師派遣を利用した学習会の参加者には下表のとおり「生ごみ堆肥化基材等」を配布すること。

講座内容	配布物
ダンボール箱を使った堆肥化方法	ダンボール箱及びピートモスともみ殻くん炭の混合物
密閉式容器を使った堆肥化方法	EMぼかし

- (イ) 受託者は、生ごみ堆肥化基材等の受払の状況を常に記録する。
- (ウ) 業務終了時に生ごみ堆肥化基材等が残っている場合には、受託者は委託者に返還すること。
- (エ) 生ごみ堆肥化基材等の運搬経費及び保管倉庫の借上費は受託者の負担とする。

3 実績報告及び契約金の支払

受託者は毎月10日までに、前月分の業務の執行について、実績報告を行う。ただし、令和6年3月分については、令和6年3月31日までに報告書を提出すること。

契約金の支払は月払いとし、毎月の業務完了届の提出を受け、検査後、受託者の請求により委託者は契約金を支払う。ただし、生ごみ堆肥化講師派遣分については、単価契約とし、実施件数に応じて支払う。

4 再委託

- (1) 本業務の全部を第三者に委託（以下「再委託」という。）してはならない。ただし、業務遂行上本業務の一部を再委託する必要がある場合は、あらかじめ申請すること。
- (2) 再委託を行うことが仕様書等の趣旨及び内容と照らし合わせ不相当と認められる場合、再委託を承認しないことがある。

5 環境への配慮

本業務においては、本市の環境マネジメントシステムに準じ、環境負荷低減に努めること。

6 その他

- (1) 本業務の遂行にあたっては、国が示した「新しい生活様式」や、北海道が提唱する「新北海道スタイル」に沿い、十分な感染症対策を行うこと。
- (2) この仕様書に記載されていない事項については、委託者と受託者が協議の上、決定する。

(様式 1)

「生ごみ堆肥化講師派遣」申込書

令和 年 月 日

生ごみ堆肥化講師の派遣を次のとおり申し込みます。

学習会等の名称			
団体（グループ）名			
代表者名			
連絡先	住所 電話番号	〒 - (Tel -)	
	担当者 氏名	(団体役職名等)	
希望堆肥化手法 ※いずれか 1 つを選択		<input type="checkbox"/> ダンボール箱による堆肥化 ※堆肥化用ダンボール箱と生ごみ堆肥化基材(10ℓ)を進呈します。	
		<input type="checkbox"/> 密閉式容器(EM)による堆肥化 ※EMぼかし(600g)を進呈します。	
		<input type="checkbox"/> コンポスターによる堆肥化	
派遣希望日時・場所 ※派遣希望日の20日前まで にお申込ください。		日時	令和 年 月 日 時 分から 時 分まで ※概ね2時間以内でお願いします。
		会場名	
		会場 所在地	札幌市 区
参加予定人数		人	
備考		(特に講師に聞きたい内容等ご希望がございましたらお書きください。)	

(注)・講師料、テキスト代以外の経費は、申込者の負担となります。

- ・申し込み数が予算を超えた場合、学習会が営利や特定の宗教・政治活動を目的とする場合などは、派遣できないことがあります。

(様式2)

生ごみ堆肥化講師派遣実施報告書

令和 年 月 日

主催者
名称
代表者氏名

担当者氏名

TEL

生ごみ堆肥化講師の派遣を受けたので、次のとおり報告します。

学習会等の名称	
実施日時	令和 年 月 日 () 時 分～ 時 分
実施場所	札幌市 区
参加者数	名 [大人 名、子供 (年生) 名]
講師氏名	
学習会等の実施内容 および感想	

生ごみ堆肥化講師派遣アンケート

<p>講師の指導内容について</p>	<p>1 指導内容は、期待にお応えできるものでしたか？</p> <p>ア 満足</p> <p>イ ほぼ満足</p> <p>ウ あまり満足できなかった</p> <p>エ その他 ()</p> <p>理由 []</p> <p>2 指導レベルは、参加者にとって適当でしたか？</p> <p>ア 適当</p> <p>イ 少し難しいところがあったが、ほぼ適当だった。</p> <p>ウ 難しすぎた。</p> <p>エ もう少し高度な内容にしてほしかった。</p> <p>オ その他 ()</p> <p>3 指導の中で、良かった（効果的だった）点は？</p> <p>4 より効果的な指導のために、検討が必要と思われる点は？</p>
<p>堆肥化の実践について</p>	<p>講習を受けて、堆肥化に取り組んでみたいと思いましたか？</p>
<p>今後の学習・活動について</p>	<p>ごみの減量・リサイクルについて、今後、どのような学習・活動をしていきたいですか？</p>

生ごみ堆肥化学習会参加者名簿

実施日 令和 年 月 日 団体名〔 〕

	氏名	住所
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		

※団体で同様の名簿を作成している場合には、この様式によらないことができる。